

## 1 研究主題（研究テーマ）

集団で思考する授業づくりの工夫  
～生徒の語りの量と質に注目した指導の工夫～

## 2 主題設定の理由

生徒の公民的資質の向上をめざすためには、話し合い活動や学び合いの中において、集団で考え、他者と意見を言い合える授業づくりが大切であると考えている。更に、現実社会に即したものと身近な問題の中から「パフォーマンス課題」を設定し、毎時間の授業のめあてや提示する資料、学習活動を工夫することによって、話し合い活動や学び合いを充実させることができると考えた。その中で、思考する生徒の視野を広げたり、逆に焦点化したりすることで多面的・多角的に考えさせ、生徒自らが自分なりの最適解や納得解を見出せるようにしたい。そこで、杵島支部では研究テーマをこれまでから引き継ぎ、「集団で思考する授業づくりの工夫～生徒の語りの量と質に注目した指導の工夫～」と設定した。

## 3 研究の内容

### （1）「パフォーマンス課題」の工夫

現実の社会問題や身近な問題を取り上げることで、生徒が学ぶ必然性を感じ、主体的に学びに向かう問いをパフォーマンス課題として設定する。単元の終末では、授業での学びを通して考えたことを個人でまとめたり表現したりさせ、評価する。

### （2）学び合いの工夫

「目的」や「視点」、「立場」を明確にし、集団が共通認識のもとで活動することで、一人ひとりが考えをもち、他者の考えも受け入れながら語り、自らの考えを深めたり、広げたりできるような、より豊かで充実した学び合いをめざす。

### （3）振り返りの工夫

毎回の授業で、学んだことや他者の考え、それをもとに個人で考えたことを振り返りとして書き残すことで、次の学習、学び合いの充実やパフォーマンス課題に対する思考の整理につなげる。

## 4 研究経過

（1）11月24日（金）提案授業・授業研究会 公民的分野（江北中：岩永 悠平 教諭）

## 5 成果と課題

今年度、生徒が深く思考する環境づくりとして、「目的」・「視点」・「立場」を明らかにして取り組みを行った。考えを整理するための基準を明確にすることで、考えが深まり、生徒同士の意見の交換の質もより具体的なものになっていった。また、杵島郡内の先生方と同様の視点で、郡内の授業研究会の授業を参観したことで、どうすれば、より良く授業を改善していくことができるのかを共有することができた。

課題としては、日々の取り組みの中に、どのように落とし込んでいくかである。単元のパフォーマンス課題や教材の共有を進め、負担感を減らしながら、質の高い実践に取り組んでいきたい。

《文責：松尾 英（有明中学校）》

# 第3学年社会科（公民的分野）学習指導案

日 時 令和5年11月24日(金) 5校時  
対 象 3年2組 31名  
場 所 3年2組教室  
指導者 教諭 岩永 悠平

## 1 単元名 第3章 第3節 地方自治と私たち

### 2 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領の公民的分野内容A「私たちと現代社会」の「(2) 現代社会を捉える枠組み」を受けて構成されたものである。地方自治は、「民主主義の学校」と形容されるように、二元代表制や直接請求権など、民主主義の理想政治体制に近いことが特徴である。また、政治的分野の中でも生徒にとって非常に身近な内容であるため、具体的な事例にもとづく授業に取り組むことにより、地域社会の発展のために政治参加する自治意識を育むことができる単元として適している。しかし、政治参加は、選挙に行くことでしか実現できないと捉えている生徒が多いことが予想される。このような価値観をもつと、「政治参加は大人になってから考えればよい」という考えにつながる恐れがある。そこで、中学生からでも行使可能な請願権を取り上げ、陳情書の作成を通して、「政治参加＝選挙」と考えがちな生徒の政治参加観に揺さぶりをかけたい。

#### (2) 生徒観

本学級の生徒は、社会科の学習に積極的に取り組む生徒が多い。グループワークなどの活動的な学習に対しても意欲的に取り組むことができている一方で、授業中の発問に反応する生徒が固定される傾向にある。また、基礎的な事項の定着はできているが、学習した内容を基に説明することを苦手としている生徒が多い。授業アンケートの結果では、「授業を通じて自分の考えをもつことができた」という質問に対し、15%の生徒が「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答しており、社会的事象を自分事として捉えることを苦手とする生徒も一定数存在する。

#### (3) 指導観

指導に当たっては、過去に中高生によって行われた陳情の例を紹介し、請願権が身近な権利であることを捉えさせたい。電子黒板に資料を映し出すことによって、視覚的に資料を捉えてイメージをふくらませ、生徒に興味・関心をもたせたい。また、多角的・多面的な課題に気づくため、ブレインストーミングを用い、江北町の魅力と課題について自由に意見を出させ、意見交流する中で生まれた気づきを陳情につなげられるようにしたい。

## 3 単元の目標

地方公共団体の政治の仕組みや住民の権利や義務について理解させるとともに、地域社会への関心を高め、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識を育む。

## 4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務など地方自治の基本的な考え方について理解している。	地方の政治と政治参加に関わる課題について、地域住民の視点から多面的・多角的に考察し、自分の考えを適切に表現している。	自分が住む地域の課題に気づき、地域をよりよくするために、住民参加による地方自治の意義について意欲的に考え、関心を高めようとしている。

## 5 指導計画（全5時間）

- (1) 私たちの生活と地方自治・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (2) 地方自治の仕組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (3) 地方公共団体の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (4) 住民参加の拡大と私たち・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間（本時2／2）

6 本時の学習

(1) 本字の目標

- ・陳情書を書く取り組みを通して、当事者意識をもって地域の課題を見出し、解決のための提言をすることができる。【思考・判断・表現】

(2) 本時の評価規準

- ア 請願書作成に向けて協働し、意欲的に参加しようとしている。【主体的に取り組む態度】
- イ 江北町の課題や魅力を考察し、陳情の必要性を的確に表現している。【思考・判断・表現】

(3) 本時の授業過程【全5時間 本時5 / 5】

過程	学習活動と内容	形態	教師の指導・支援	評価とその方法
導入	1 若者の政治参加について、海外の事例や国内のデータを見て、考えを広げる。	斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子黒板に資料を提示する。若者の政治参加意識に関する内閣府の調査データ等を紹介する。</li> <li>・ 中高生が行った陳情を電子黒板に提示して説明する。</li> </ul>	
	2 中高生による過去の陳情の事例の内容について理解する。			
<p>【めあて】</p> <p>選挙に行くことだけが政治参加じゃない！</p> <p>江北町をよりよくするために、グループで陳情書を作成しよう！</p>				
展開	3 グループ活動を行う。 ① 江北町の魅力や課題から、陳情の内容を作成する。	学び合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の授業内容をふり返り、グループ活動の取り組み方で、大切にしてほしいこと、取り組む時間を伝え、見通しをもたせる。</li> <li>・ 実際に陳情を行った中学生の陳情書を、書き方の参考として提示する。</li> <li>・ 机間指導と声かけを行い、グループの活発な活動を促す。</li> </ul>	ア めあての探求を意欲的に行おうとしている。(観察)
	② グループで作成した陳情書をワークシートとホワイトボードにまとめ、発表する。	学び合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表を行う際のポイントを提示する。</li> </ul>	イ 多面的・多角的に考察し、グループの考えを記述することができる。(ワークシート)
まとめ	4 本時の授業をワークシートでふりかえり、陳情を使った政治参加について、自分の考えをまとめる。	個	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりよい地方自治には、住民が当事者意識をもって行動を起こすことが重要であると伝える。</li> </ul>	
	5 次回の授業を確認する。			

(六角川 牛津川 付近の地域の  
治水)

## に関する陳情書

令和5年11月24日

提出者 江北中学校(2)班

住所 杵島郡江北町大字山口412番地

氏名 江北中(2)班 印

江北町議会議長様

(空き家問題)

## に関する陳情書

令和5年11月24日

提出者 江北中学校(5)班

住所 杵島郡江北町大字山口412番地

氏名 江北中(5)班 印

江北町議会議長様

陳情の趣旨(内容)

六角川、牛津川付近の地域の治水に  
取り組んで欲しい

陳情の理由

近年、地球温暖化の影響で大雨が降り続ける  
ことが多くなりました。それに伴って六角川、牛津川  
付近の地域では浸水することが多くなりました。  
浸水により農作物や家屋などに大きな被害が出る  
こともあります。農作物に被害が出ると、農家の方々の  
収入が減ったり、家屋が浸水したときには、家具などに  
被害が出たりしてしまうことがあります。

江北町に住む人達の生活を守るために、この陳情を提出  
します

陳情の趣旨(内容)

空き家を減らすために、リフォーム、建て替え  
のままでの賃貸にしてサイトを設立し告知する。

陳情の理由

住んでくられる人が増え、景観や衛生環境の悪化  
を防ぎ、空き家に対する不法投棄が減り、ゴミ  
問題の解決につながるから。町民のみなさんにも理解  
してもらえるようになるとうい思いで、この条例を提出します。

◎ 今日の授業で気づいたことや学んだことを書いてみよう。

今の江北町は住宅を増やしてはが空き家の有効活用などで土地も環境も節約、環境がよくなる利他の案が良いと思えた。今の江北町の現状がどのくらいか知ることができた。新たな視点、解決策を班どうして交流することで色々な見方があると分かった。

◎ 今日の授業で気づいたことや学んだことを書いてみよう。

江北町は、いろんな課題があり、私が気づいていないことがたくさんありました。私たち中学生が政治に参加する機会はないと思っていたけど、請願権は年齢制限がなくいつでもできるので、いつか陳情書を提出してみたいと思いました。この権利のことをみんなが知って若者向けの政策が増えていくといいなあと思いました。

◎ 今日の授業で気づいたことや学んだことを書いてみよう。

みんな色々な視点で書いていて、陳情を聞いた方なるほどと思うものが多かった。特に、空き家の活用の意見はどれも良いと思えた。江北町だけでなく、県や国で動いてほしい陳情だと思えた。

◎ 今日の授業で気づいたことや学んだことを書いてみよう。

陳情書を作るのは思ったより簡単でした。中学生が政治に参加できるから陳情書はいいと思った。政治の勉強して選挙に行ったりしたいです。